

2001年4月  
(平成13年)  
No. 19

# Amizade

～姉妹都市協会ニュース～

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会  
岐阜県中津川市かやの木町2-1  
中津川市役所 広報広聴課  
〒508-8501 ☎0573-66-1111

## 姉妹都市提携20周年記念

～21世紀へ友情をつなぐ～



▲雨の中記念植樹を行うレジストロ市長夫妻と中津川市長夫妻

### レジストロ市訪問団が中津川へ

中津川市とブラジル・レジストロ市は、1980年8月5日の姉妹都市提携調印から平成12年で20年を迎えました。これを記念し、同年10月19日から4日間、サムエル・モレイラレジストロ市長夫妻ら13人の親善訪問団の皆さんが中津川市を訪れました。

両市は姉妹都市提携後、中津川市姉妹都市友好推進協会（鈴木嘉進会長）とレジストロ市姉妹都市友好会（山村敏明会長）を中心として、相互訪問を実現し、

15周年の95年にはレジストロ市長らが来日され、98年には中津川市長らがレジストロ市を訪問しました。また、小学生による文通の交換等、両市民のふれあい交流を深めてきました。

訪問団の皆さんは、20周年記念式典に出席され、記念植樹や姉妹都市会議等を行い、20年間深めてきたきずなをより強いものにされました。

# レジストロ市親善訪問団 思い出いつぱいの滞在4日間

19日

## 両市の皆さん喜びの再会

17日午前0時50分(ブラジル現地時間)にブラジルサンパウロを出発した訪問団の皆さんは、18日成田へ到着。東京に一泊され、都内を視察後、19日午後4時47分中津川駅に到着されました。中津川市姉妹都市友好推進協会主催の歓迎夕食会に出席され、98年にレジストロ市を訪問した中津川市友好親善訪問団(小林房吉前中津川市長ら13名)の団員らと2年ぶりの再会を喜び合い、



当協会員らと共に、友好を深められました。(写真①)

## し市訪問団の皆さん



▲中津川市議場にて

- 上段左から順に  
清水リナ||市長秘書兼通訳  
サンドラモレイラ||市長夫人  
サムエルモレイラ||市長  
大迫国人||留学生  
山村敏明||友好会長  
エジソンアルメイダ||企画課長  
ヨランダポシー||前小学校長  
佐々木悟||日伯文化協会会長  
山村純子||友好会長夫人  
直井幸子||友好会会員  
村松一喜||APAE理事長  
ジャクソンオリベイラ||市議長  
近岡健治||友好会顧問  
(敬称略)

20日

## し市長に特別栄誉市民章

レジストロ市長ら一行は、午前9時半、中津川市役所を表敬訪問され、中川鮮市長らと懇談。(写真②)庁舎敷地内で、市の花「サラサドウダン」を記念植樹されました。三菱電機中津川製作所で工業技術の説明を受けながら工場視察された後、レ市のアンデルセン小学校と文通や絵の交換で交流を深めている坂本小学校3年3組の授業を参観されました。(写真③)子ども達は、中津川のことを教えてあげたり、活発に質問し、レ市長らは丁寧に答えてくれました。



レ市長は、「名誉ある市民章を受け、責任の重大さを感じながらも感激しています。交流親善促進にこれからも尽くしていきたいと思っています」と挨拶されました。参加の皆さんは、「この協定が世界の平和と繁栄に貢献する」と記された姉妹都市提携の原点である協定書の精神を再確認し、今後も一層交流を深めていくことを誓いました。



21日

## 太鼓で楽しい夕食会

古い家並みに関心を持つ皆さんは、江戸時代の歴史と文化が残る馬籠・妻籠宿を散策。(写真④)妻籠宿では、歴史を語る品々が展示されている協本陣を見学されました。ロクコの里でロクコ仕事を見学後、阿智村月川温泉郷へ移動され、お昼は「いろり」で焼かれた川魚に舌つづみをうたれました。(写真⑤)

阿智村からロープウェイに乗り、富士見台高原山頂へ登り、少し遅い紅葉を楽しみました。中津川へ戻られると、お店でショッピングを楽しまれ、家族や友人へのお土産を熱心に選んでみえました。



力ある演奏に見入って見えました。団員の皆さんも盛り上がり、教えてもらいながら太鼓をたたき、市民団体の皆さんと楽しく交流を深めました。(写真⑥)



22日

## 姉妹都市会議開かれる

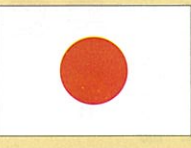
午前10時よりクアリゾートのホールで姉妹都市会議が開かれました。(写真⑩)会議では、サンパウロ州の移民文化遺産として知られる旧海外興業株式会社(KKKK)の建物について話し合われました。レジストロでは、日本移民の歴史を残すため同建物に日本移民史料館をつくる計画をしています。その史料館に展示する資料等を中津川市からも提供してほしいというレ市からのお願いに、中津川市はぜひ協力していきたいと答え、両市は今後も交流発展に力を尽くすことを誓い、会議を終了しました。お別れ昼食会が商工会議所で開かれ、4日間一緒に行動した協会員や市民の皆さんと最後の食事を楽しみました。昼食会後は、東美濃ふれあいセンターで「郷土芸能発表会」を見学されました。その後、名古屋空港に移動。鈴木協会長らと別れを惜しみ、中津川での4日間の思い出を胸に、午後7時レジストロへと飛び立ちました。



▲KKKKの建物



# 21世紀も変わらぬ友情を!



# 素晴らしい思い出をありがとう モレイラ市長からの手紙

レジストロ親善訪問団の皆さんが帰国されてから20日後、モレイラ市長より次のお礼の手紙（全文）が届きました。

拜啓貴殿におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。ブラジルは春なのに暑い日々が続いております。私たち団員は全員、10月23日午後2時（ブラジル時間）に無事にレジストロに到着いたしました。

短い時間でしたが、今回の訪問は両市にとってますます交流を深めることができたと思えます。実際にこの目で初めて日本、中津川を見て、いろいろ勉強になることが多々ありました。皆様と交流した素晴らしい思い出は私にとって生涯忘れることができないでしょう。大変お世話になり、心から御礼申し上げます。又、2009年には当地を御訪問下さるようお願いしております。  
サムエル・モレイラ

## 岐伯青年交流団が中津川を訪問

昨年8月10日、岐伯青年親善交流訪問団4名が、中津川市を訪れました。

訪れたのは、日系ブラジル人の小島千佳口ベルトさん、日下部清美二ウセさん、河合田辺パトリシヤさん、清水ゆみエリザさん（レ市生まれ）です。団員の皆さんは、市役所を訪れ、中川市長、鈴木協会会長らから歓迎の挨拶とスライドによる同市の説明を受け、夜明けの森レジストロ公園内で記念植樹を行いました。

その後、市内のポルトガル語講座生の皆さんと一緒に、鉱物博物館を見学したり、茶会を経



▲記念植樹を行った団員の皆さん

験しました。夜は、ふれあい牧場でバーベキューを行い、交流を深めました。

## レジストロからのプレゼント



モレイラ市長は坂本小学校の3年3組の授業を参観された時、子ども達にブラジルの鉱物をプレ

ゼントすることを約束されました。その約束どおり、昨年末、当協会事務局に船便により赤・紫・青・緑等の色鮮やかな石が

届きました。石は1袋に約30個入っており、児童37人と担任教諭分の38袋入っていました。袋には石のほかに小さなブラジル国旗も入っていました。同封されていた手紙には「坂本小学校の子ども達に届けてほしい」と書かれてあり、今年1

また、一行は県内各地を回りました。

月22日、協会事務局長が学校を訪ね、子ども達に石を手渡ししました。

石を手にした子ども達は「すごいきれいな石」ととても喜んでいました。



▶バーベキューを楽しむ皆さん



▲色とりどりの石

## 平成13年度 会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、たいま会員を募集しています。

- 個人 一口 千円
- 団体 一口 五千円
- 法人 一口 一万円

申込用紙は各地区のコミュニティセンター、市内の金融機関の窓口にて備えてあります。ひとりでも多くの皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ先

中津川市姉妹都市

友好推進協会

(中津川市役所広報広聴課

☎(0573)661111

## ポルトガル語を 学びませんか

自主サークル「ブラジルに親しむ会」ではポルトガル語の受講生を募集しています。中央公民館で毎月一回、杉村紀彦先生を講師に、ブラジルの文化やポルトガル語を楽しく学んでいます。

問い合わせ先

ブラジルに親しむ会 小川琴子

☎(0573)6711973